



夏の終わりを飾る
夏季スポーツ大会

今年の夏は冷夏と予想されながら、お盆を過ぎると季節がずれたように日中の気温は30度を超える真夏日が続きました。しかし、夜には秋の到来を告げているかのように少し肌寒さを感じさせた8月31日に夏の最後を締めくくる夏季スポーツ大会が総合グラウンドと小学校運動場を会場に開幕しました。

この大会は、男子が一般、壮年のソフトボール。女子がスーパーキックベースボールをトーナメントで競い、一般男子には8チーム、壮年男子には10チーム、女子には3チームがエントリーし、地区や集落の名誉をかけて熱い戦いを繰り広げました。
関連記事9ページ

広報
ひがししらかわ

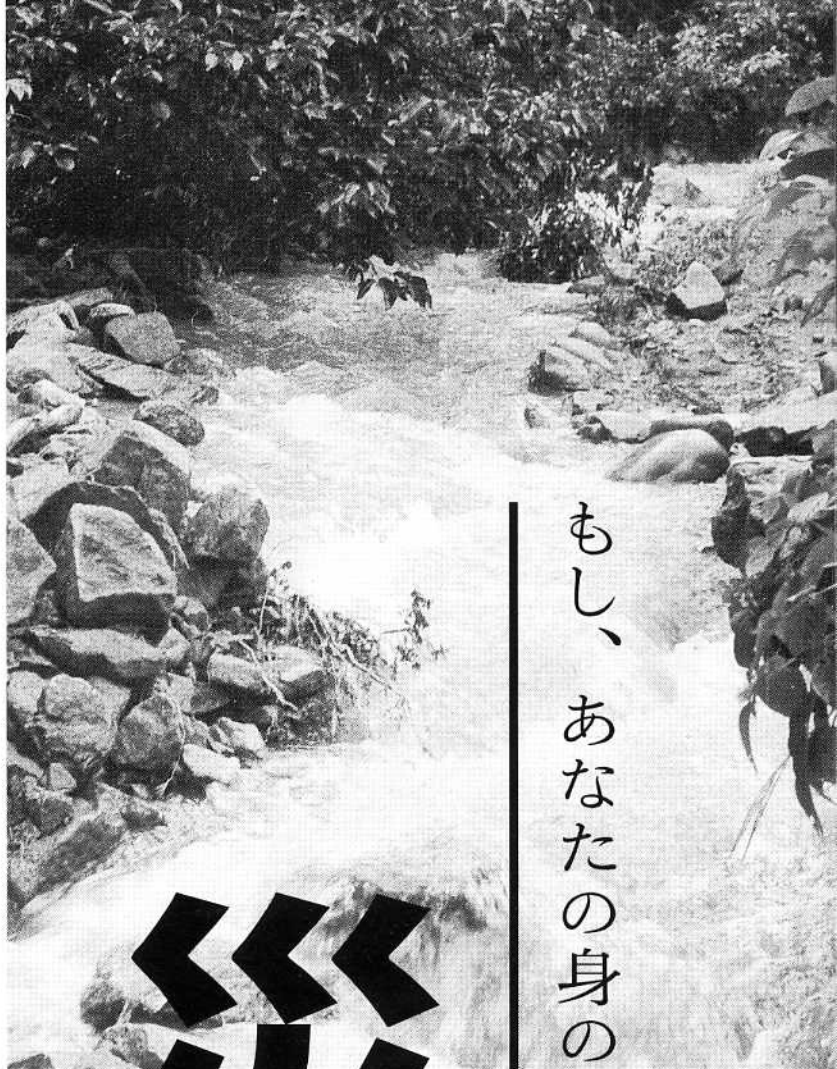
1997
平成9年 9 No.435

人口の動き

—8月末住民登録人口から—

世帯数	902 世帯
人口	3,280人
転入	4人
転出	6人
出生	3人
死亡	5人

先月と比較して4人減
昨年同月と比較して40人減



もし、あなたの身の回りでおきたら…

災害

毎年、多数の犠牲者や被害を与える災害。多くの死者を出した阪神・淡路大震災は記憶に新しいところですが、今年も季節はずれの台風七号、八号は日本本土に上陸し、九州地方に大きな被害をもたらしました。

村では、ここ数年大きな火災や天災もなく、平和な毎日をご過ごしていますが、過去には「八・一七豪雨」の影響で多大な被害を受けています。

「天災は忘れたころにやってくる」という言葉どおり、いつ私たちに影響を及ぼすかわからない災害に備えることが一番大切なことです。

八・一七災害の 教訓を生かして

昭和四十三年八月十七日。今では記憶も薄れ、ましてや知らない世代の人たちがたくさんいるのでは。この日は朝からどんよりとした天候で、午前十一時ごろに激しい雷雨となり一時間に六〇ミリという降雨を記録しました。雷鳴は止むことなく、夜半から翌朝にかけて六時間に一八〇ミリ、積算雨量三七ミリという記録的な豪雨で、村は電話が不通となり、道路の決壊流失によっ

て交通はまったく途絶え、一時はその被害状況さえつかめぬ陸の孤島と化しました。そして、その被害が判明するにつれ、村はかつてない大災害に見舞われたことが分かりました。

雷雨による局地的な豪雨は、大明神新集から神土鳥帽子形を分水嶺として五加区一円、これが帯状にのびて白川町から美濃加茂市三和町に至る一線を襲ったもので、これを称して「八・一七災害」と名付けられました。

私たちはこの悪夢のような災害を教訓に、いつおきるともしれない災害に對する心構えをしておかなければいけません。

8. 17災害の爪のあと

八月十七日に襲った豪雨は、白川町で土砂で押しながされたバス二台が飛騨川へ転落、百余名の犠牲者を出しました。村でも土砂に押しつぶされた民家に一人が生き埋めとなり、尊い命を奪われました。そのほか、負傷者一人、全壊家屋五戸、半壊五戸、山くずれ三〇六か所など大きな爪あとを残しました。



▲ 懸命な復旧作業 (平)



▲ 道路の欠壊 (下親田)

にぎわった 盛りあがった



今年の夏は例年に比べると冷夏で、たいへん過ごしやすい日々が続きました。しかし、村の夏は活気に満ちており、特に「ふるさと夏まつりザ・五介」をはじめ各集落で行われた夏まつりは、熱気でムンムン。大いににぎわっていました。

今回は、都合でまつりに参加できなかった人のために全部紹介します。ビールを傾けながら味わってください。



ザ五介鮎釣り・溪流釣り大会

▼東白川小学校太鼓クラブの皆さんが練習の成果を初披露



名人位に

鮎釣り

嗣尚さんと

守平さん

村の釣り名人を決める「ザ・五介鮎釣り・溪流釣り大会」が、鮎ヶ瀬公園付近の白川で行われ、鮎釣りに三十一人、溪流釣りに十三人が参加し腕を競いました。その結果、鮎釣りでは今井嗣尚さん（平）、溪流釣りでは安江守平さん（平）がそれぞれ優勝し、名人位を獲得しました。



夏まじり ザ・五介

いい呼び声でお客さんのサイフも緩んでいました。

一方、遊びのコーナーでは、あまごのつかみ取りや乗馬コーナーが設けられ、乗馬を誰よりも楽しみにしていたのは岐阜市近郊から来た四歳の天野広美ちゃん。生後八か月でこのコーナーで初乗馬し、毎年楽しみでやってくるそうです。

こうして夏まつりも朝から上々のスタートを切り、夕方からのメインイベントに期待を持たせました。

▲チビッコゆかたコンテスト



▲たくさんのお客さんも出店されました



夕方四時からのメインイベントでは、仮設のステージが設けられ、盆おどりのやぐらを囲むようにバザーや遊びのコーナーがズラリと並び、まつり気分を一層盛り上げていました。

ステージでは、ピンゴ大会、パルーンショー、チビッコゆかたコンテストなどなど。そして歌謡ショーでは、まつりもピークを迎え、会場から黄色い声援が。そのほか盆おどり、くじもち投げなど最後まで盛り上がった「ふるさと夏まつりザ・五介」、冷夏といわれたこの夏もこの日ばかりは熱気が漂っていました。



▲若者たちの黄色い声援が飛びかったストロベリーアイスの歌謡ショー

どくんと盛りあがった 集落の夏!

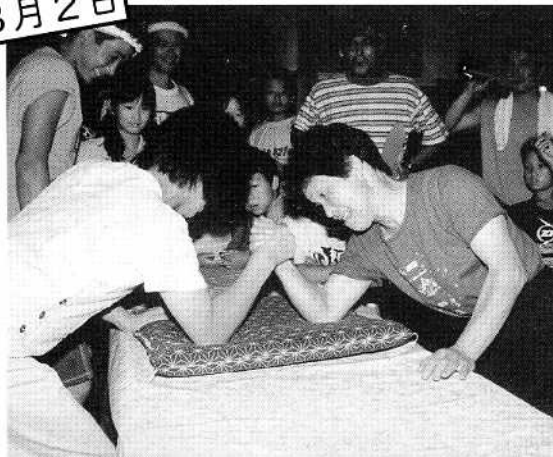
7月31日

毎年、まつりのスタートを切るのは、七月三十一日に行われる越原神社の夏まつり。今年は、こまどり会や民謡教室、三味線クラブ、木屋会の皆さんが艶やかな衣装で歌や踊りを披露。また、松茶太鼓の皆さんも迫力あるパチさばきを見せてくれました。そして花火大会、盆おどりと楽しい一夜を過ごしました。



越原神社夏まつり

8月2日



大口・西洞・加舎尾・中谷お盆フェスタ

西洞センターの完成を記念に始められたお盆フェスタ。今年は八月二日に行われ、大勢の皆さんで熱気に包まれました。このまつりは毎年ユニークで、今年の目玉はアームレスリング（腕相撲）大会。女性の方もこの時ばかりは恥を投げ捨て、渾身の力を腕に集中。おしとやかさはどうこえやら!

8月1日



大明神子護神社夏まつり

昨年太鼓堂も完成し、一層神社の風格を増した大明神子護神社。大明神の夏まつりは毎年八月一日にこの神社で行われ、最近のイベント重視の夏まつりと一味違い、神楽獅子舞が奉納され秋の収穫を祈願する伝統的なまつりです。しかし、奉納のあとは盆おどりと歌謡ショーで楽しみ、飲んで歌って夏のひとときを満喫されました。

8月16日



五加納涼盆おどり大会

夏まつりの最後を飾ったのは、八月十六日に五加運動場で行われた五加納涼盆おどり大会。ここでの目玉は、白川高校の皆さんによる生演奏で、ベンチャーズのヒットナンバーや最近のヒット曲を披露。また、冷蔵庫やテレビなど豪華景品が当たるビンゴ大会や花火大会も好評でした。

8月2日



神付・中通納涼夏まつり

神付と中通がいっしょになって行う納涼夏まつり。今年は八月二日に中通農村公園で行われ、憩いのひとときを過ごしました。
ここでの魅力は、焼きそば、おでんに焼き鳥などどぜうくんぶ飲み食いただ。今や敬遠されつつあるカラオケ大会も頑固に守っていました。

平の皆さんが中心となって始められた鮎ヶ瀬公園納涼夏まつり。今年も八月一日に行われ、昨年以上に盛り上がりました。
このまつりは、毎年子ども向けのイベントに趣向を凝らされており、今年話題のタマゴッチ等が当たるビンゴ大会も行われ、チビ子たちに人気を得ていました。また、二百発の花火も最高な気分させました。

毎年八月十五日に行われる平商工フェスタ。この日ばかりは、平商店街がまるで原宿竹下通りのようなにぎわいでした。
ここでの人気は、やはり豪華景品や商品券が当たるお楽しみ抽選会で、平で買い物された皆さんは、読み上げられる数字で抽選券とのにらめっこ。歓声とため息が入り交じっていました。また、ミニ四駆大会や不用品バザーも好評でした。



8月15日

平商工フェスタ



8月1日

鮎ヶ瀬公園納涼夏まつり

元気村の『出来事情報』



中川原付近を散歩中にマムシの大群に遭遇。平の神戸景典さん



初めての体験に悪戦苦闘の川口珠世さん

初めて体験活動を通して、児童や生徒の熱意が増えるかも。

象に、枝打ち体験活動研修が八月八日に親田地内の村有林で行われました。

この研修は、県の教育委員会が毎年実施しているもので、立派な先生になるための登竜門。参加した五十三人の新任教員の皆さんは、林業グループの皆さんの指導のもとで、夏の日差しを浴びながら汗を流しました。

教員の皆さんは、作業の苦労を先輩から耳にしており、「最初はイヤだった」という人がほとんど。しかし「作業をしているうちに一生懸命になった」とのこぎりも軽やかに動いていました。東白川小学校の川口珠世さんも「村の産

たくましくなった
新任先生!!

体験

「勤労体験活動を通して、児童や生徒の熱意が増えるかも。」



約100人の参加者で盛り上がる「フェスタ・DE・バーベキュー」の様子。肉牛組合が協賛しました。

あてに送られる。また、八月二十四日にはこの倶楽部主催のバーベキューがこまねびの館で開かれ、多数の村外者と交流を深めました。

村が掲げる若者定住や活性化を目的に若者たちで組織されたラグードリーム倶楽部が、「都会の人たちと交流を深め、村を身近なものに感じてほしい」とふるさと情報紙「さいぶれす」を制作、発刊しました。

この「さいぶれす」には、村で開催されるイベントや観光案内、村の飲食店や宿泊施設などがユニークに紹介されており、都会の人たちの心をそるような趣向を凝らした案内がされています。当面は、メンバーの友だちや知り合い

ふるさと情報紙
「さいぶれす」を発刊!

提供



ふるさと情報紙「さいぶれす」の創刊号



お母さんといっしょに作った料理はやはり最高/愛情もたっぷり込められています

普段なかなかできない親子の共同作業、みんな楽しんで作っていました。

「子どもたちの心とからだの健康づくりを」と八月十日にはなのき別館で親子料理教室が行われました。

この教室は、インスタント食品が増える中、栄養バランスのとれた食事をつくることや親子のふれあいを目的に、夏休みを利用して食生活改善推進協議会が開催したもので、十組三十人の親子が参加しました。

今回のメニューは、カレードーナツ、フルーツポンチ、そして沖縄の最も代表的な料理をアレンジしたモヤシとニラのチャンプルーの一品です。

ぼくたち、小さな料理の鉄人!!

教室



小麦粉を練ってドーナツを作っている様子

話題集まれ!



優勝に輝いた安江啓子さん・裕子さんの親子ペア

はり親子の絆にはどんなペアにも勝るものがありました。準優勝は安江公平さん・安江重治さんペア。三位は田口由里さん・仲澤愛さんペアでした。

親子の絆が制した 村民テニス大会

健闘



健闘もむなしく3位になった中学生ペアの田口由里さん・仲澤愛さんの華麗なプレー

雨続きで冷夏といわれながら、やけにこの日ばかりは太陽が照りつけた八月二日、三十度を超える暑さの中、総合運動場テニスコートでは第十七回村民軟式テニス大会が開催されました。この大会はダブルスのリーグ戦で行われ、参加した十組のペアは、中学生の仲良しペアや親子ペア、また即席ペアなど様々。個人の技術とコンビの息が大切なこの競技ですが、皆さん普段の練習の成果を発揮され、ラリーが続く白熱した場面が見られました。この熱戦を制したのは安江啓子さん・裕子さん(平)の親子ペア。や

村の子どもたちの 心が動いた日

上映



上映された「地球が動いた日」の一コマ

様子などを描いたものです。同じ日本でありながら、平和で何もない村の子どもたちの心には、この映画ほどのように写ったことでしょう。

「子どもたちに命の尊さや助け合うことの大切さを感じてもらおう」と八月二十二日に親子ふれあい福祉映画会がはなのき会館で行われ、平成七年一月に多くの犠牲者や被害をもたらした阪神・淡路大震災の悲惨さをアニメ化した「地球が動いた日」と題された映画が上映されました。この物語は、震災によって父親を失った友だちの心の痛みを知る一人の少年が、避難所の人の心づかいやボランティアの励ましの中で、「人と人とのつながりの大切さ」を知っていく



映画を観賞する皆さん

連日連夜の熱戦! 夏季スポーツ大会

団結



女子の部で優勝した五加チームの皆さん

一般男子の部
優勝：五加B②五加A③親田、平
壮年の部
優勝：陰地②ピートルズ③平西、五葉B
女子の部
優勝：五加②華の木③大明神レディース

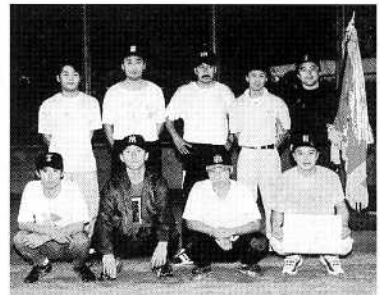


壮年の部で優勝した陰地チームの皆さん

一般の部では五加Bチームが、壮年の部では陰地チーム、また、スーパードキックベース女子の部では五加チームが優勝しました。大会の結果は次の通り。

それぞれの部の頂点をめざして、連日連夜熱戦を展開しました。その結果、ソフトボール男子一

八月三十一日から九月六日まで一週間の日程で開催された第三回夏季スポーツ大会は、各チームそれぞれ



一般の部で優勝した五加Bチームの皆さん

なごやか村の『人情報』



お便り

ほんとうにほんとうにありがとう

美並村社会福祉法人合掌苑一同

食の体験工房「味彩」へふるさと企画が合掌苑の子どもたちを招待しました。その御礼の手紙の一部を紹介します。



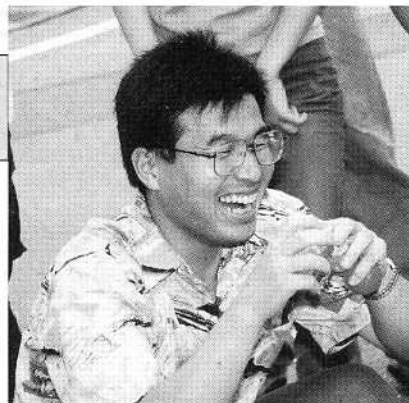
6月29日合掌苑の皆さんと味彩のスタッフで記念撮影

お招きいただき
ありがとうございました。
私は将来食品関係の仕事につきたいと思っています。この体験を通して、一層食べ物づくりに興味を持つことができました。本当にありがとうございました。

竹市照美

パン工房のみなさん、ゴルフをやらせてくれてありがとうございます。パンづくりや紙すきやごはんを食べさせてくれてありがとうございます。とってもごはんがおいしかったです。
小関さゆり

招待していただきましたありがとうございます。とても貴重な体験をさせていただきました。びっくりしたのは初めてだったけど、うまくできてよかったです。
城戸敏行



ふるさと夏まつりザ・五介より

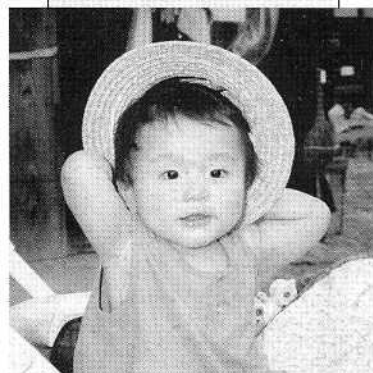
わが家のスター



このコーナーの子
もたちみな同い年。
10年後、20年後「広
報」をみればホラ！
1歳のあの子の顔が...



▲田口 育世ちゃん
(正昭さん・江里子さん
=平)

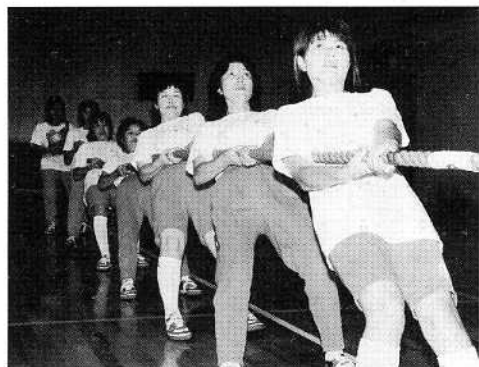


▲安江 伊世ちゃん
(正巳さん・七美さん
=上親田)

仲間をたすねて

運動会などでなごみの競技とされる綱引き。集落対抗戦などでは団結力を見せるには格好な競技として皆さんに親しまれています。今回は、そういった盛り上がりの中から生まれ、今では村を代表し、様々な大会で活躍している女子のチーム「みつばつつじ」を訪ねました。

このチームができたのは、平成五年の産業祭で行われた農協共済主催の綱引き大会で優勝したのがきっかけとか。そのため現在十人のメンバーのほとんどが大明神の主婦で構成されています。発足当時のチーム名は「とまとのまんま」。しかし「将来を見据えた名前を」と村の花



綱引きは8人の競技。メンバーが少ないのが悩みのタネ。練習は男子や壁が相手だそうです

「みつばつつじ」と改名し、五月四日に岐阜市で行われた'97ぎふスポーツフェアの綱引き女子フェザー級ビギナーの部で見事に優勝を果たし、この名をとどろかせました。

一瞬の油断や乱れで、勝負が決まるこの競技。「簡単そうで奥が深いのが魅力」と皆さん練習に励んでいました。

みんな仲間だ!

消息

8月1日～8月30日

(敬称略)

●誕生おめでとうございます

(陰地) 磯村 和弘 } 建太
昌枝 }
(日向) 安江 敏治 } 隆真
文子 }
(陰地) 今井 明義 } 並由美
由美子 }

●おくやみ申し上げます

大坪 久美 56歳 (平)
古田ウメノ 82歳 (大明神)
今井 義市 92歳 (陰地)
田口 きぬ 83歳 (平)
大坪 理雄 80歳 (陰地)

職場から

今井ベジタブル

今回は、農業や化学肥料など一切使わない農作物や無添加食品などを都会の人たちに提供している今井ベジタブルを訪ねました。

この会社は、村の農家や食品加工業者と契約し、野菜や卵、豆腐、あげなど新鮮で安全な食料品を仕入れて、岐阜や名古屋方面へ毎日宅配しています。「自然農法を学び、スーパーなどに並ぶ形の良い野菜に危険を感じた」という今井隆秀さん(陰地)は11年前に1人でこの仕事を始め、当時は10軒ほどだった顧客も今では150軒にまで膨れ上がり、4人で切り盛りしています。しかし、時代のニーズによって順風満帆で来たこの会社も、やはり栽培農家の高齢化が心配ごとの一つとか。



今回は、連れ添って六十一年と半世紀以上を伴にしている平の伊藤重雄さん、美枝さんご夫妻を訪ねました。
このお二人に人生を振り返っていたら、中でも苦勞の連続だったとか。中でも戦争のころは忘れることのできない悲惨な日々が続いたようです。



伊藤重雄さん・美枝さんご夫婦

けて電車で広島市へ通っていたご主人は、昭和二十年八月六日電車が満員で乗車を避けたのが運命の分かれ目、その二時間後には広島市に原爆が投下され、命拾いをしたとか。五十数年たった今は「陶芸教室やせせらぎ荘へ行くのが楽しみ」と平和な毎日を楽しんでいるようでした。

当時、お二人は東京で生活をしていましたが、ご主人は、軍事関係の仕事で広島へ。奥さんは、空襲で四人の子どもを抱えてご主人の実家である東白川村へ疎開し、ご主人の婦りを……。二時間か

ホットアンゲル



会福祉に一役かっている天使の心を持つ団体「有留美会」の皆さんが、九月一日に村中から集められたアルミ缶を美濃加茂市の缶工場へ運びました。

「環境問題」「リサイクル」といった言葉はテレビなどでよく耳にし、この広報でも何度も取り上げていますが、人間の心の中には天使と悪魔が住んでいるのか、まだまだ空缶のポイ捨てが目立ちます。そんな中、アルミ缶を回収し、社



缶を潰すのも手作業です(足作業かな?) 手間がかかります

この作業は、年に二、三回実施され、缶の選別、潰し、運搬と手間をかけています。中には缶の中の異物を取り除く作業も。今回運搬されたアルミ缶は、二トトラックに約二杯分。この売り上げは、福祉器具の購入など村の社会福祉に役立てられます。

知ってほしい『生活情報』



あまり知られないシシボコ（シュンラン）
の実 田口博さん（美濃加茂市）

社協から

本年度も十月一日から年末までの三ヶ月間「あなたのぬくもりが笑顔に変わる」をスローガンに、赤い羽根共同募金を展開します。

募金方法は事務嘱託員さんを通じての封筒募金と募金箱（役場、保健センターの窓口等へ設置）にて行う予定です。
皆様の温かい善意をよろしくお願います。

課題を追う三

「病院をどんどん利用して」

とは言いにくいけれど

CT導入でレベルアップ

このほど東白川病院に「CTスキヤナ」と呼ぶ検査装置が設備されました。

普通のレントゲン写真では一方向からの平面的な影像ですから、重なった部分、骨の陰になった部分などが見えにくいことがあります。

言葉は悪いのですが、CTは全身を輪切りにしたような状態の写真を撮ることが出来ます。（決して本当に輪切りにはしません。念のため……）

しかもこれを高速撮影できますから、短時間で、苦痛もなく、普通では分りにくい病変を発見する能力を持ったすぐれものといえます。

聴診器を胸にあて、脈を診ただけでピタリと病名を当て、薬をくれるお医者さんというのは昔の名医のイメージですが、現代の名医は、検査の結果を総合的に判断して、より適確な治療をする人をそう呼ぶといっても過言ではないでしょう。

CTはそのために大きな力を発揮し、東白川病院の信頼度を高める一助となることはまちがいありません。

今の東白川病院の実力は、人、医療機器、施設などを総合して、かなり高いレベルにあると自負できます。

しかし、いかにすぐれた装置であっても十分に利用されなければ多くの効果を挙げることはできません。

村の病院ですから村民の皆さんがこぞって利用していただきたい……これが病院開設者としての「村」の願いです。

ところが、何しろ病院のことですから、こぞって、おいに、積極的に利用して下さいと言え、しかられそうではありません。もともと病院には縁の無いほうが良いのですが、不幸にして縁ができたなら、その時は村の病院へ来て下さい。



▼栄養たっぷりです！

お米のお話 ① ▲

そろそろ皆さんの家庭でも新米が収穫されるころです。米はあまりにも身近すぎて、ありがたさを実感することが現在では薄れているようです。

ご飯は私たちが活動するためのエネルギー源で自動車であればガソリンのようなものです。そのほかタンパク質やビタミン、ミネラル、食物繊維が含まれ、そのうえ現代の食生活の洋風化で心配されている脂肪分が少ないのが特徴です。

一時は「ご飯は糖質のかたまりでは」といった誤解を招いていましたが実際は各種栄養素がバランス良く含まれ、ほかの食材との相性も良く、穀類の中の最高の食品といっても過言ではありません。一度見直してみてもいかがでしょう。

▼エアコンとアレルギー性鼻炎 ▲

夏の終から秋口にかけては、またしてもアレルギー性鼻炎が猛威をふるいます。これは「花粉症の慢性化」ではなく、ハウスダストと呼ばれる家の中のホコリやダニが原因です。

冷房、暖房などのエアコンがハウスダストまんえんの犯人で、クシャミ鼻づまり、鼻水、涙などが絶えないわけです。

エアコンの中には大量のダニやカビが発生し、スイッチを入れるといっせいに吐き出され、吹き出した風は家の中のハウスダストを舞い上げ、かきまぜます。

じゅうたんを使用していたり、ペットを飼っていたりすれば、室内の空気はさらに汚れます。対策は、室内を清潔にし、換気に気を付けること。



行政の窓口

ありがとう
ございました

御寄付 (敬称略)

【社会福祉協議会へ】

現金10万円=今井芳行 (西洞)
現金5千円=安江藤吉 (平)
現金1万円=安江かず (平)
現金15万1,600円
=山田土建従業員一同 (平)

現金1万円=やんちゃ会
現金5万円=大坪鉦明 (平)
現金30,730円・タオル=平商栄会
現金10万円=今井清彦 (陰地)
現金2万円=安江政子 (大明神)
現金37,000円=蔵ちゃん杯参加者一同
現金5千円=匿名

古切手=安江峰子 (平)

【社会福祉整備指定へ】

現金30万円=田口暁 (平)
現金20万円=大坪晴生 (陰地)
現金5万円=安江己之助 (日向)
現金38,111円

=昭和45年度東白川中学校卒業生一同

【東白川小学校整備指定へ】

現金2万円=大坪鉦明 (平)

【交流事業指定へ】

現金3万円=細江勝 (白川町)

【東白川小学校へ】

はく製=今井幹雄 (西洞)

更年期

日本人の女性の閉経年齢は50歳といわれています。この時期を境にした前後5年間は更年期といえます。更年期には原因疾患のない不定愁訴とよばれるさまざまな症状があらわれてつらい思いをしますが、同時にこのころ家族の環境も大きく変化し、そのことによる精神的な動揺も病気の症状を重くしていると考えられます。

症状が重い場合には医師の診察を受けることが必要です。受診科は内科、婦人科、精神科、外科等です。その結果、特に病気がなければ悩んだりあせったりせず生活を楽しむことに気持ちを切り替えましょう。更年期教室を10月1日の1時から保健センターで開催します。

保健婦だより

宝くじ東白川村 文化講演会の開催

村では全国自治宝くじの助成を受けて宝くじ文化講演会を開催します。

日時/平成九年十月二十七日(月)

開場午後七時 開演午後七時三十分

場所/はなのき会館

講師/ピーター・フランクル

演題/人生を楽しくする方程式

入場/無料、但し入場整理券が必要です。

入場整理券配布所/沢木の店、JA越原事業所、富士屋商店、

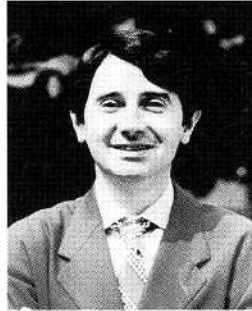
教育委員会(整理券は十月一日から

配布します)

くわしくは/東白

川村教育委員会

有線二一七二まで



コミュニティ助成事業で 音響設備を導入

平成九年度コミュニティ助成事業で、はなのき別館に音響設備が整いました。

この事業は、(財)自治総合センターが、地域の健全なコミュニティの発展と、全国自治宝くじの普及活動の一環として助成されたものです。

購入した機器は、CD・MAプレーヤー、Wカセットデッキ、ワイヤレスマイク六本、スピーカー四台などです。

はなのき別館に強い見方が加わり、一層充実しました。



可茂広域行政PRイベント POPSゆめ畑in可茂

パブルガムブラザース・ステージショー
日時/十月四日(土) 午後三時~五時
場所/白川町クオーレふれあいの里
入場/無料

そのほかのイベント/

ウォークラリー: 午前十時~午後一時

公園文化トークショー: 午後一時~二時

いいもの大集合・ゆめ畑物産展: 午後一時~

五時

大抽選会: 午

後二時

各種バザー

くわしくは/

役場総務課企

画財政係有線

五一六五まで



このコーナーはスナップ風景です。
あなたの撮った写真をお寄せください。▶

輝く田舎の『文化情報』



秋の風物詩、いよいよ稲刈り作業の始まりです。

山上憶良が万葉集に歌った秋の七草は、ハギ、オバナ、クズ、ナデシコ、オミナエシ、フジバカマ、アサガオの七つ。オバナはススキのことで、アサガオはムクゲかキキョウをさすとの説があります。

国内に生える萩は、最も一般的で私達の村にもあるヤマハギ、それより葉が丸いマルバハギ、この二種は紅紫色の蝶形の花が美しく、風情があります。キハギとマキエハギは花も地味であり見栄えはしません。

ナデシコは今では野生より園芸品種の方がなじみがあり、オミナエシ、キキョウ、フジバカマも野生が少くなりました。

これに比べて元気の良いのがススキ。一斉に風になびく穂波は「尾花」の語源を納得させてくれます。

クズは村の方言でゴゾバ。根から葛粉をとることは知られていますが、漢方生薬の葛根は、解熱剤として今も使われています。

旬の話

しゅん

秋の七草

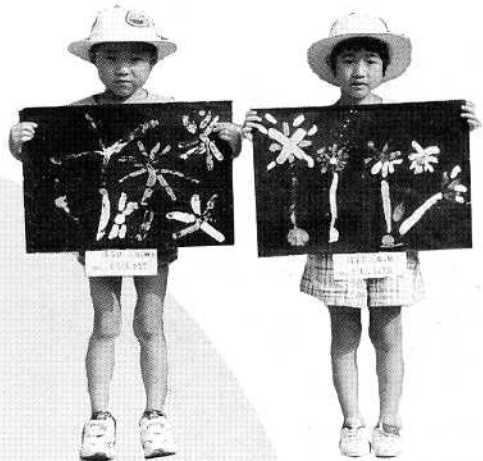
私の作品



▲「テーブル」
牧野勲平さん（日向）
東白川中学校3年生



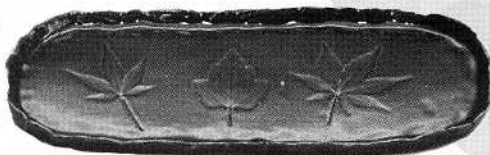
▲「猫の貯金箱」
安江任美さん（大明神）
東白川小学校4年生



▲流し絵「はな火」
左から村雲広規ちゃん（西洞）
安江祥子ちゃん（上親田）
神土保育園年長組

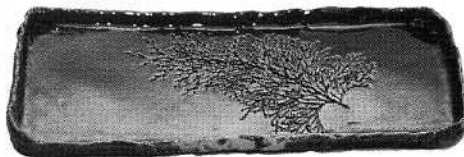


東白川中学校3年生
牧野美由紀さん（大明神）
「ゆかた」



▲陶芸「絵皿」
安江忠枝さん（平）
高齢者生きがい事業

陶芸「絵皿」▶
熊澤ユリさん（大明神）
高齢者生きがい事業



▲「ログハウス」
早瀬文香さん（神付）
東白川小学校1年生

心のオアシス

東白川村百科

村有林

明治維新の藩政改革の際、当時の苗木藩の借財整理の手段として、藩直轄の山が地元の村へ有償払下げされました。鳥帽子形、桜峠、新巢、無反の4か所が本村関係の払下げ山林でしたが、鳥帽子形と桜峠はそれぞれ個人に分割されました。

しかし奥地の新巢と無反は希望者も無く、多少の紆余曲折はありましたが結局神土村と五加地区五か村の共有林となったのです。この時期が明治5年頃のことです。

明治22年(1889年)、町村制の実施によって、神土、越原、五加の3村合併で東白川村が発足した時点で、これらの山は旧村単位の区有林とすることに決められました。

越原区は苗木藩からの払下げとは別に区有林を所有していましたが、明治33年、これを越原小学校基本財産として村へ所有権を移し、続いて神土、五加の両区有林もそれぞれの小学校基本財産として村へ指定寄付されました。

これらの山は「学林」と呼ばれ今日の村有林の基盤となって学校校舎建設など、村財政に大きく貢献しました。

本

「雨の日には…」
相田 みつを 著

「おれにそっくり」
運動会ではいつもビリ 子供の頃のおれにそっくり 鉄棒やれば逆上がりもダメ 歌を歌えば全く音痴 おれが子供の時と同じだ わるいところが親に似た わるいところが親ゆずり わるいところがおれにそっくり…『育てたように子は育つ』



短歌

山鳩は鳴き疲れしかかすれたる夕の声の切なく聞ゆ	今井 かな	誕生日友は絵だより喜べりうぬぼれて又絵筆とるわれ	田口かずみ
梅雨晴れを暁として水ぬるむ植田に今日は苗の補植す	安江 澄	老いびとの後姿を拝みつゝとほとぼ歩む己が躬戒む	安江 守平
山幾つ越えしか未だ道遠く車はひたに野麦峠へ	安江 節子	わが庭に四季折々に花咲けりなかも愛しき紅シクラメン	安江すみよ
山裾の青草茂る中に咲くささゆりの花うす紅可憐	安江 龍玉	懸命に自転車こげる母の背につかまる園児バスは先行く	中島甲子生
ドグダミは十の葉の効ありと白き花びら夕闇に浮く	三戸 きり	青々と育つ稲今眺めつつ豊作願ひ両手を合はす	今井 幹音
改築中の仮居の風呂の薄き板通してとなりの煮物が匂う	小林 道子	職退きて山畑に佇つ明け暮れは花鳥風月師なり友なり	安江嘉久一
畑仕事木かげに休み茶を飲めば蝶とんぼらも帽子に憩う	早瀬 久子	つるさげ八十路の吾れの立てし支柱を頼りなげにもつかみ上れり	伊藤 美枝
母われの丸き背中の気になるか息子はいつも伸ばせと云へり	安江とくよ	雨幾度滯らして過ぎし石畳洗車の後の清しさを呼ぶ	伊藤 重雄
水面より顔だけ出して田蛙はカカクケケと競い鳴き合ふ	菊田 清美		

皆様の作品をお寄せください。ご投稿は偶数月の二十日までに
越原安江嘉久一宛にお出し下さい。

おしらせ

連絡
募集
行事

見をお寄せください。
〒五〇〇岐阜市藪田南二
一 一 岐阜県警察本部標識
BOX係

就業構造基本調査に

ご協力ください

この調査は、わが国の就業・不就業の実態を明らかにし、雇用対策など社会・経済政策の基礎資料を得ることを目的に実施するものです。

統計的手法によって選ばれた十五歳以上の方が対象です。ご協力お願いします。調査実施期間／九月二十三日から十月の上旬までに調査員が訪問します。

「花の都ぎふ」講座 花づくり、花かざり講座

日時／平成九年十月二十三日（木）午後一時三十分
場所／花フェスタ記念公園
参加費／無料
内容／花づくり講演、花かざり講演と寄せ植えの実演（材料費千五百円別途）
申込方法／往復はがきに、

「花の都ぎふ講座参加希望」と明記のうえ、住所、氏名、電話番号、寄せ植え実習体験希望の有無を記入し郵送（返信先宛名も忘れずに）
申込期限／平成九年十月九日（木）必着
申込・照会／美濃加茂市古井町下古井二六〇一〇一可
岐阜事務所総務課 ☎〇五七四一二五―三一三一（内線二〇三）

法律相談の 開催について

司法書士・行政書士会共同
公証人協賛による無料法律相談を開催します。
内容にかかわらずお気軽にお出かけください。
日時／平成九年十月四日
午前九時から午後三時
場所／美濃加茂市中央公民館二階会議室
くわしくは／美濃加茂公証役場 ☎〇五七四―二六一四
四三六 ▼岐阜県司法書士会
井戸長四郎 ☎〇五七四―五三一二七〇一 ▼岐阜県行政書士会寺尾巖 ☎〇五七四―二五―二〇六四

年賀はがきの寄付金で 福祉車両を導入

去る四月三日に東白川郵便局長服田広道さんから桂川直衛社会福祉協議会長へ郵政省お年玉年賀はがき事業の配当金として、移送用車両整備費百十七万円の寄付金配当決定通知書が手渡されましたが、この度、その寄付金によって地域福祉活動用自動車を導入されました。この車両は、これから地域のさまざまな福祉活動の場で、活躍することになります。社会福祉協議会は、こうした寄付金や地域の皆さんのご理解によって成り立っています。



夏の暑さが去ったさわやかな秋の夜は、テレビゲーム

や読書に熱中してしまい、つい夜ふかしをしがち。夏バテの回復のためにも睡眠は十分にとりたいもの。▼九月は「敬老月間」日本人の平均寿命は男性で七十七・〇一歳、女性八十三・五九歳で過去最高となったと厚生省（九六年簡易生命表）が発表した。▼男女の寿命差は六・五八歳と前年より〇・一歳拡大し、過去最大になった。女性は十二年連続して世界一。男女とも世界最高水準の長寿を維持している。▼平均寿命は大幅に伸び、長い老後をどう生きるか、人生八十年時代の豊かな老後生活とは？わたしたち一人ひとり真剣に取り組まなければならない問題です。▼ところで富士山頂のレーダーの老朽化が進み二〇〇〇年までに廃止になるようです。気象レーダーとして世界一を誇ったが、気象衛星で台風の動きが分かるようになってから、降雨予報を出すために使われてきた。

(X)

information

岐阜県民文化祭
ヤングミュージック
フェスタ'97の開催
日時／平成九年九月二十一日（日）午前十時
場所／花フェスタ記念公園
内容／アマチュアバンドの公演（二十三組）特別ゲスト：KORENANOS
入場割引券あり（役場窓口）
くわしくは／役場総務課企画財政係有線二二三〇

十月一日から一週間は 「全国道路標識週間」

国、県、村では、道路管理者として、利用者の立場にたったわかり易い標識の整備に努めています。この期間中、道路標識についてアイデアやお気づきの点がありましたら、次のところまでがきか封書でご意